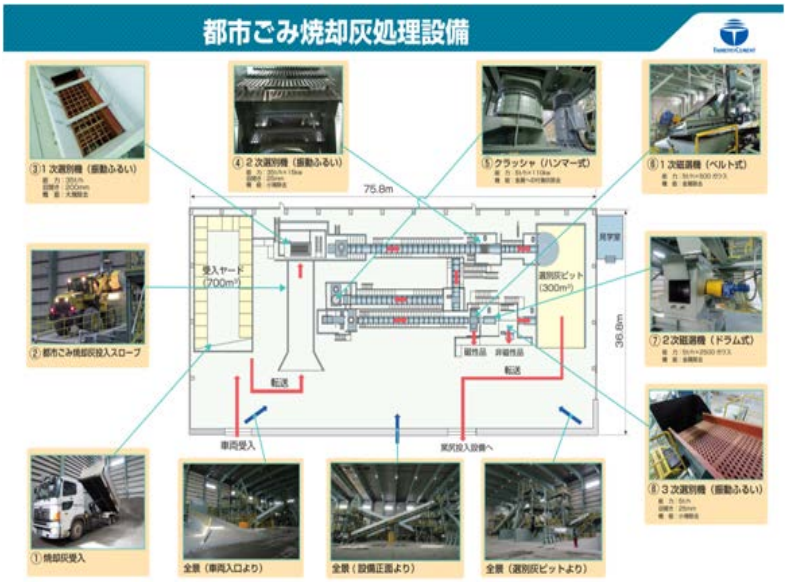
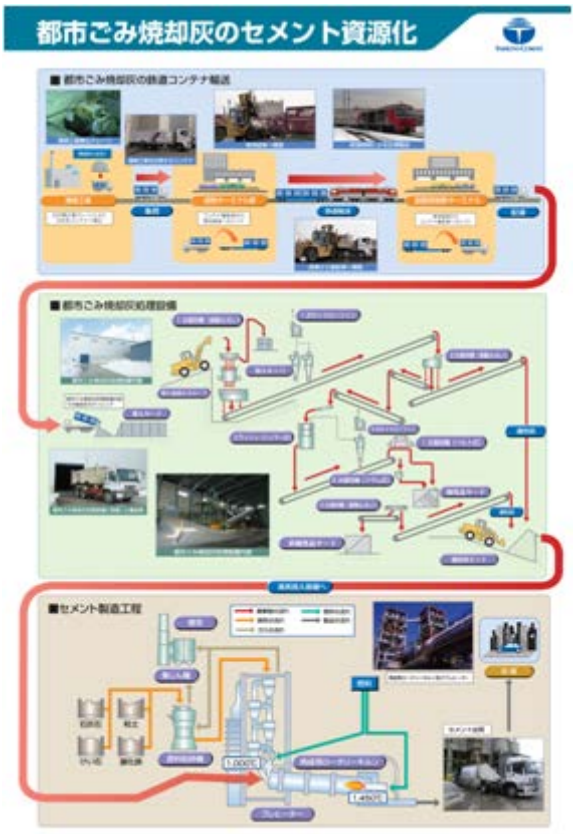
1.1 太平洋セメント株式会社

1.1.1 事業者情報

名　　称	太平洋セメント株式会社		
本社住所	〒135-8578	東京都港区台場 2-3-5　台場ガーデンシティビル	
資本金、出資金	86,200,000 千円		
従業員数	1,645　人		
設立年月日	1881 年　5 月		
URL	http://www.taiheiyo-cement.co.jp/index.html		
事業概要	セメント事業、資源事業、環境事業、建材・建築土木事業、セラミックス・エレクトロニクス事業、その他		
事業所写真	上磯工場の上空からの撮影 		
問合せ先窓口	部署名	環境事業部　営業企画グループ　リーダー	
	担当者名	生田　考	
	連絡先	電話番号	03-5531-7417
		FAX	03-5531-7608
		E メールアドレス	kou_ikuta@taiheiyo-cement.co.jp

1.1.2　技術情報

キーワード	都市ごみ焼却灰、セメント資源化
技術名称	都市ごみ焼却灰のセメント資源化システム
技術の分類	その他（焼成処理：セメント資源化　）
設備、製品等の写真、イメージ	
処理フロー図	

廃棄物の種類	一廃	燃え殻	受入条件、形状	バラ
供給資源・製品	普通セメント		形状	
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例）処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	処理単価（運賃、消費税含まず）： 約20,000 円/t 環境負荷低減：上磯工場に搬入された焼却灰は全てリサイクル（普通セメント、有価の金属）され、最終処分場の延命に寄与致します。	
	製品購入者側のメリット	例）環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	従来と変わらない「普通セメント」として販売しています。	
	その他	例）受賞歴、施設見学受入者数、等	上磯工場への見学は、年間で約 1,000 人に訪問頂いています。	

1.1.3 実績情報

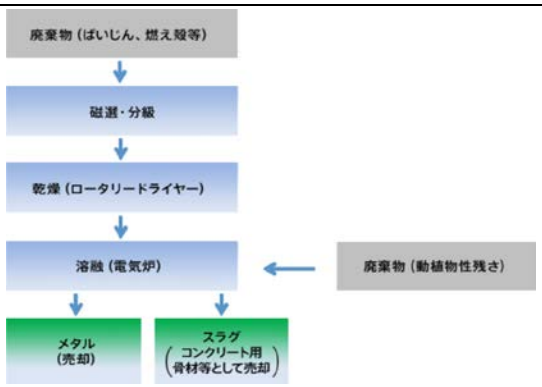
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	都市ごみ焼却灰	事業開始前	事業開始前	
	（平成 25 年度から事業を開始し、5,000t/年の処理を実施中）			
受入可能量	都市ごみ焼却灰	事業開始前	事業開始前	
	（平成 25 年度から事業を開始し、50,000t/年の処理能力を保有）			
販売実績量の推移	上磯工場のセメント生産量	298	387	万t/年
主な調達先	北海道内を中心とする、各自治体及び一部事務組合			
主な供給先	従来からセメントを購入頂いている販売先			
技術開発の実績 （過去 5 年間）	平成 12 年度：北海道が「エコランド北海道 21 プラン」を策定し、上磯工場での焼却灰のリサイクル事業が計画されました。 平成 21 年度：上磯工場は、一般廃棄物の施設設置許可を取得しました。 平成 21 年度：札幌市と北斗市のご協力を頂き、札幌市ごみ焼却灰のセメント資源化事業の調査・実証試験が、開始されました。 平成 25 年度：4 月より事業開始。（平成 24 年度に工事）			
設備投資の実績 （過去 5 年間）	平成 23 年度：約 10 億円を投資 ①セメント製造設備へ、焼却灰を投入する設備 ②セメント製造設備から高塩素を抜き取る設備　等 平成 24 年度：約 10 億円を投資 ①焼却灰中の異物を除去する設備			

3.1 大平洋金属株式会社

3.1.1 事業者情報

名　　称	大平洋金属株式会社		
本社住所	〒031-8617	青森県八戸市大字河原木字遠山新田 5-2	
資本金、出資金	13,900,000 千円		
従業員数	468 人		
設立年月日	昭和 24 年 12 月 1 日		
URL	http://www.pacific-metals.co.jp/index.php		
事業概要	産業廃棄物及び八戸市一般廃棄物処理施設から生じた焼却灰、県内で処理が課題となっているホタテ貝殻を調整材として配合し、直流電気抵抗式還元炉を用いて混合溶融することで、溶融スラグ（人工砂）、溶融メタルを製造する。		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	大平洋金属　製造本部　環境事業部　焼却灰溶融課	
	担当者名	杉山　晋	
	連絡先	電話番号	0178-47-7251
		FAX	0178-47-7255
		E メールアドレス	n-sugiyama@pacific-metals.co.jp

3.1.2　技術情報

<table>
<tr><td>キーワード</td><td colspan="4">直流電気抵抗式還元炉</td></tr>
<tr><td>技術名称</td><td colspan="4">直流電気抵抗式還元炉による廃棄物の溶融・還元</td></tr>
<tr><td>技術の分類</td><td colspan="4">その他(電気炉での溶融・還元)</td></tr>
<tr><td>目的・用途</td><td colspan="4">溶融メタル：ウエイト原料及び金属資源　溶融スラグ：コンクリート用細骨材等の土木資材</td></tr>
<tr><td>特長</td><td colspan="4">重金属類を含む廃棄物を約 1600℃で溶融・還元してメタルとスラグに分離することで、メタルは金属資源化し、無害化されたスラグは土木資材等の資源として再利用出来る。</td></tr>
<tr><td>設備、製品等の写真、イメージ</td><td colspan="4">
溶融スラグ配合コンクリート二次製品　溶融メタル
溶融スラグ細骨材</td></tr>
<tr><td>処理フロー図</td><td colspan="4"> 
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">廃棄物の種類</td><td>一廃・産廃</td><td>燃え殻、ばいじん類</td><td>受入条件、形状</td><td>粒度：0-30mm、水分：10-30%、塩素：4%以下、フッ素：1%以下、ホウ素：1%以下</td></tr>
<tr><td>産廃</td><td>汚泥、動物性残渣、金属屑、ガラス屑、コンクリート屑、陶磁器屑、鉱さい</td><td>受入条件、形状</td><td>粒度：0-30mm、水分：10-30%、塩素：4%以下、フッ素：1%以下、ホウ素：1%以下</td></tr>
<tr><td rowspan="2">供給資源・製品</td><td colspan="2">溶融メタル</td><td>形状</td><td>粗破砕(0-20mm)</td></tr>
<tr><td colspan="2">溶融スラグ細骨材</td><td>形状</td><td>0-5mm</td></tr>
</table>

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例）処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・焼却埋立処分されず新たな資源（ウエイト原料及び金属回収、コンクリート用骨材)としてリサイクルが可能であり、排出者は CSR（社会的責任）を向上させることができます。重金属を含む廃棄物も受け入れが可能です。
	製品購入者側のメリット	例）環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	溶融スラグは重金属を含まず、天然砕石由来の骨材と同等の品質があります。
	その他	例）受賞歴、施設見学受入者数、等	例年約 80 名の施設見学を実施。見学希望は随時受け付けます。

3.1.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	燃え殻・ばいじん	4,448	3,018	t
	汚泥	210	100	t
	ガラス・陶磁器屑	236	42	t
	動物性残渣	501	395	t
受入可能量	燃え殻・ばいじん	−	16,622	t
	汚泥	−	3,039	t
	ガラス・陶磁器屑	−	2,683	t
	動物性残渣	−	1,995	t
	金属屑	−	404	t
	鉱さい	−	2,683	t
販売実績量の推移	溶融メタル	0	516	t
	溶融スラグ	6,296	4,861	t
主な調達先	一般廃棄物処理施設、各業種製品製造ラインで発生する産業廃棄物			
主な供給先	溶融メタル：ウエイト製造メーカー、金属回収企業 溶融スラグ：土木用コンクリート製造メーカー（当社溶融スラグを配合したコンクリート二次製品が、青森県リサイクル認定を取得しており、公共工事で優先的に使用頂いております）			
技術開発の実績（過去 5 年間）	約 5 千万円でブリケッティングマシンを導入。工程で発生した粉体を造粒して電気炉にリターンすることで、電気炉内原料のガス抜きが良くなり、操業の安定化となった(2011 年)			

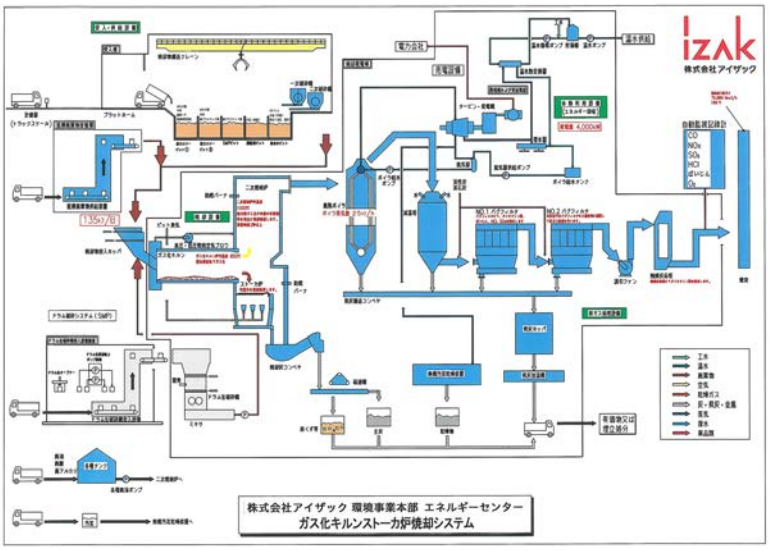
設備投資の実績 （過去 5 年間）	約 5 千万円でブリケッティングマシンを導入。工程で発生した粉体を造粒して電気炉にリターンすることで、電気炉内原料のガス抜きが良くなり、操業の安定化となった(2011 年)
海外展開の実績 （過去 5 年間）	溶融メタルについて、海外への輸出実績あり。
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	過去 5 年間の活用実績無し。

12.4 株式会社アイザック

12.4.1 事業者情報

名　　称	株式会社アイザック		
本社住所	〒937－0816	富山県魚津市大海寺野　1181	
資本金、出資金	99,000　千円		
従業員数	405　人（内エネルギーセンター　33 人）		
設立年月日	昭和　38　年　7　月　2 日		
URL	http://www.izak.co.jp		
事業概要	・本事業は、「廃棄物エネルギーリサイクル事業」として抑制燃焼方式によって廃棄物を焼却処理し、発生するエネルギーを回収して発電し電力供給、さらに発電で使用した低温排熱も温水として他事業所に供給しています。本施設は環境配慮型の焼却施設であり、削減される CO2 は約　16,000 トン/年で環境省の「廃棄物処理施設における温暖化対策事業」として補助金を戴いています。		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	環境事業本部　エネルギーセンター　業務課	
	担当者名	浜野　昭弘	
	連絡先	電話番号	076-471-5100
		FAX	076-471-5511
		E メールアドレス	a-hamano@izak.co.jp

12.4.2　技術情報

キーワード	廃棄物処理、再資源化			
技術名称	抑制燃焼式　キルン・ストーカー炉（ロータリーキルン・火格子）			
技術の分類	廃棄物発電、熱利用焼却			
目的・用途	富山市エコタウン構想に基づき、本施設はこれまで処理困難とされてきた産業廃棄物を安全かつ安定的な焼却処理になっていることと同時に高効率発電を行っている。			
特長	廃棄物エネルギーリサイクル事業として、抑制燃焼方式によって焼却処理し、発生するエネルギーを熱回収して発電し自社の電力供給、余剰電力は売電、蒸気を利用した汚泥乾燥、さらに発電で使用した後の低温排熱温水として近隣の企業に供給しています。またガス化焼却炉によって完全燃焼して、ダイオキシン、CO、二酸化窒素の排出を抑制、環境負荷の軽減化を図っています。			
処理フロー図				
廃棄物の種類	産廃	燃え殻	受入条件、形状	特になし
	産廃	汚泥	受入条件、形状	特になし
	産廃	廃油	受入条件、形状	特になし
	産廃	廃酸	受入条件、形状	重金属含有以外
	産廃	廃アルカリ	受入条件、形状	重金属含有以外
	一廃・産廃	廃プラスチック類	受入条件、形状	特になし
	産廃	その他（金属くず、木くず、動植物性残渣、建築廃材）	受入条件、形状	当社破砕機で破砕可能な物
	産廃	感染性産業廃棄物	受入条件、形状	600mm×400mm×400mm 以内の医療系ボックス

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例）処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・発電した電気の自社利用分にて J-VER 制度に登録。J-VER クレッジトの創出を行います。 ・本施設は、環境配慮型の焼却施設であり、削減されるCO2は年間で16，000トン/年となり、富山県の STOP 温暖化事業の中の新エネルギーにて削減目標の約 30%に相当します。
	その他	例）受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学受入者数　626　人 （平成 24 年　EC 実績）

12.4.3　実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥（特管含む）	0	9,678	t
	廃油（特管含む）	0	14,357	t
	廃酸、廃アルカリ（特管含む）	0	8,204	t
	廃プラ（産廃）、紙くず、木くず、金属くず、繊維くず、動植物性残渣	0	4,038	t
	燃え殻、ばいじん（特管含む）	0	38	t
	廃プラスチック（一般）	0	3,915	t
	感染性産業廃棄物	0	785	t
受入可能量	汚泥（特管含む）	－	10,034	t
	廃油（特管含む）	－	14,886	t
	廃酸、廃アルカリ（特管含む）	－	8,506	t
	廃プラ（産廃）、紙くず、木くず、金属くず、繊維くず、動植物性残渣	－	4,187	t
	燃え殻、ばいじん（特管含む）	－	40	t
	廃プラスチック（一般）	－	4,059	t
	感染性産業廃棄物	－	813	t
主な調達先	非公開			

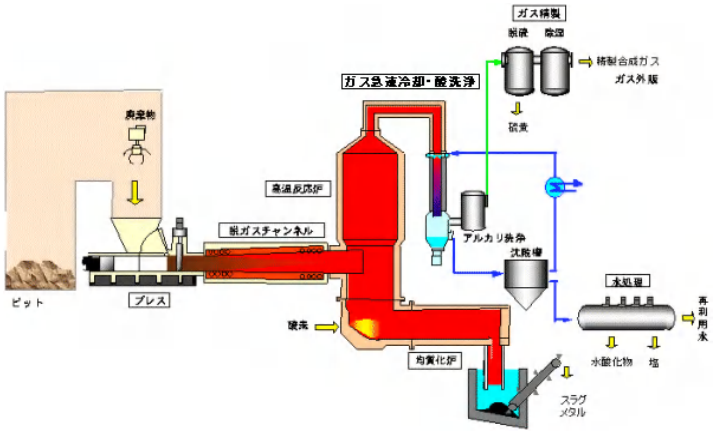
主な供給先	北陸電力株式会社（売電）
設備投資の実績 （過去 5 年間）	非公開
補助金等支援策の活用 実績(過去 5 年間)	非公開

16.2　水島エコワークス株式会社

16.2.1　事業者情報

<table>
<tr><td>名　　称</td><td colspan="3">水島エコワークス株式会社</td></tr>
<tr><td>本社住所</td><td>〒712－8074</td><td colspan="2">岡山県倉敷市川崎通一丁目 14 番 5 号</td></tr>
<tr><td>資本金、出資金</td><td colspan="3">2,300,000 千円</td></tr>
<tr><td>従業員数</td><td colspan="3">10 人</td></tr>
<tr><td>設立年月日</td><td colspan="3">平成 14 年 1 月 21 日</td></tr>
<tr><td>URL</td><td colspan="3">http://www.eco-works.co.jp/</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="3">・PFI 推進法に則り、倉敷市で収集される一般廃棄物等(可燃ゴミ、
焼却灰及び下水汚泥)及び産業廃棄物の処理を行うため、
民間業者が資金を調達し経営及び技術的能力の活用を行って、
資源循環型廃棄物処理施設の整備・運営等を行う。</td></tr>
<tr><td>事業所写真</td><td colspan="3"> </td></tr>
<tr><td rowspan="5">問合せ先窓口</td><td>部署名</td><td colspan="2">総務部</td></tr>
<tr><td>担当者名</td><td colspan="2">横内　誠志</td></tr>
<tr><td rowspan="3">連絡先</td><td>電話番号</td><td>086-447-3255</td></tr>
<tr><td>FAX</td><td>086-447-3257</td></tr>
<tr><td>E メールアドレス</td><td>yokouchi@eco-works.co.jp</td></tr>
</table>

16.2.2　技術情報

キーワード	ガス化、一般廃棄物、産業廃棄物、ガス化溶融炉、ガス化改質方式、焼却施設			
技術名称	サーモセレクト方式ガス化溶融			
技術の分類	ガス化溶融			
目的・用途	廃棄物（燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、.ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を含む)、.ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)、陶磁器くず(自動車等破砕物を含む)、鉱さい、がれき類、ばいじん、.前掲の廃棄物を処分するために処理したもの、輸入廃棄物） の再資源化			
特長	・廃棄物処理にあたっては、ダイオキシンの発生抑制を始め、 廃棄物由来の改質ガスをコンビナート他施設の燃料として利用するとともに、スラグ、メタル、金属水酸化物、硫黄などの他の副生成物も分離回収し、 全て再資源化を図るなど完全な資源循環型システムを構築する。			
設備、製品等の写真、イメージ				
処理フロー図				
廃棄物の種類	一廃・産廃	可燃ごみ	受入条件、形状	市民・事業者持参分を除き、爆発性廃棄物、放射性廃棄物、医療廃棄物、劇薬・農薬を除く
	一廃・産廃	廃プラスチック類（PET除く）	受入条件、形状	異物（金属等）を除く
	一廃・産廃	燃え殻	受入条件、形状	長さ 20cm以上の固形物（クリンカー、レンガ、金属塊等）を除く

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例）処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	リサイクル率が 100%となる処理方法を採用することにより、排出者として環境負荷軽減によりよく寄与できること。
	製品購入者側のメリット	例）環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	分離回収された副生成物再資源化による有効活用に寄与できること
	その他	例）受賞歴、施設見学受入者数、等	施設見学者受入数 平成 22 年度：2,240 人 平成 23 年度：1,672 人 平成 24 年度：1,562 人

16.2.3 実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	燃え殻	118	104	t
	汚泥	14311	16334	t
	廃油	4427	2029	t
	廃プラスチック類	38608	33241	t
	紙くず	321	1314	t
	木くず	1238	2102	t
	繊維くず	243	1049	t
	動植物性残さ	2598	1236	t
	金属くず	1	−	t
	ガラスくず	50	18	t
	がれき類	−	147	t
	ばいじん	316	4	t
	特管・廃油	129	98	t
受入可能量	非公開			
主な調達先	倉敷市、コンビナート9社（旭化成ケミカルズ、JFE スチール、クラレ、JX日鉱日石エネルギー、中国電力、日本ゼオン、三菱化学、三菱ガス化学、三菱自動車）			
主な供給先	JFE スチール、JFE エンジニアリング			
設備投資の実績（過去 5 年間）	非公開			

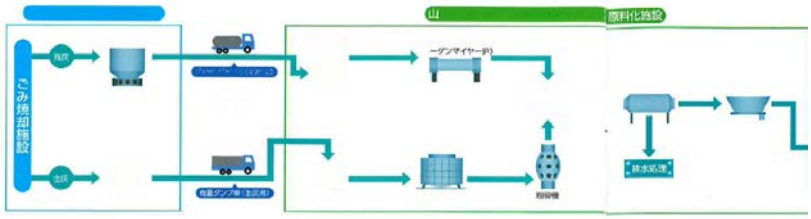
18.1　山口エコテック株式会社

18.1.1　事業者情報

名　　称	山口エコテック株式会社		
本社住所	〒　745－0024	山口県周南市晴海町7番 46	
資本金、出資金	90,000　千円		
従業員数	14　人		
設立年月日	平成　13　年		
URL	http://www.y-eco.co.jp		
事業概要	都市ごみ焼却灰のセメント原料化のための前処理（脱ダイオキシン、脱塩素）		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	営業・総務部	
	担当者名	末永　文男	
	連絡先	電話番号	0834-34-2935
		FAX	0834-33-3746
		E メールアドレス	suenaga@y-eco.co.jp

18.1.2　技術情報

<table>
<tr><td>キーワード</td><td colspan="4">焼却灰　脱ダイオキシン、脱塩素</td></tr>
<tr><td>技術名称</td><td colspan="4">脱ダイオキシン、脱塩素</td></tr>
<tr><td>技術の分類</td><td colspan="4">その他（　分解、水洗除去　　）</td></tr>
<tr><td>目的・用途</td><td colspan="4">都市ごみ焼却灰中の有害物質分解によるセメント原料化のための前処理</td></tr>
<tr><td>特長</td><td colspan="4">リーズナブルな処理料金</td></tr>
<tr><td>設備、製品等の写真、イメージ</td><td colspan="4">ﾀﾞｲｵｷｼﾝ分解炉

処理済み後の焼却灰（脱水ｹｰｷ）
 </td></tr>
<tr><td>処理フロー図</td><td colspan="4">  </td></tr>
<tr><td rowspan="2">廃棄物の種類</td><td>一廃・産廃</td><td>燃え殻</td><td>受入条件、形状</td><td>別途、弊社規定による</td></tr>
<tr><td>一廃・産廃</td><td>ばいじん類</td><td>受入条件、形状</td><td>〃</td></tr>
<tr><td>アピールポイント</td><td>廃棄物等排出者側のメリット</td><td>例）処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</td><td colspan="2">長期に渡り、焼却灰の処理が可能であり、且つ二次汚染が発生しない</td></tr>
</table>

18.1.3 実績情報

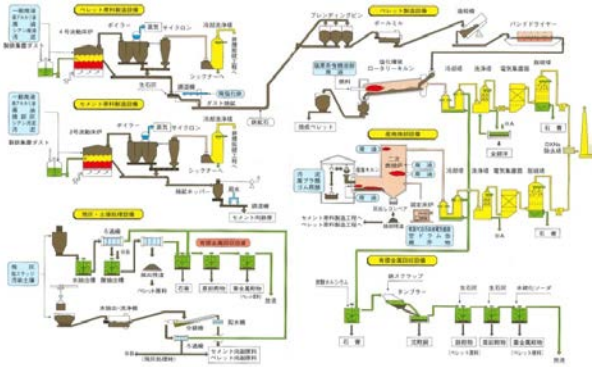
	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	燃え殻	非公開	非公開	t
	ばいじん	非公開	非公開	t
受入可能量	燃え殻	−	34,000	t
	ばいじん	−	16,000	t
主な調達先	県内及び隣接県の自治体			
主な供給先	セメントメーカー			

22.17　光和精鉱株式会社

22.17.1　事業者情報

名　　称	光和精鉱株式会社		
本社住所	〒804－0002	福岡県北九州市戸畑区大字中原 46-93	
資本金、出資金	10 億円		
従業員数	150　人		
設立年月日	1961/2/10		
URL	http://www.kowa-seiko.co.jp/		
事業概要	○製鉄ダストのリサイクル　～ 新日鐵住金㈱八幡製鐵所で発生する製鉄ダストを処理（＝「塩化揮発による不純物元素の除去」と「成型・焼成」）し、製鉄ペレットとして再資源化 ○各種廃棄物の処理　～ 上記の処理プロセスの中で、各種の廃棄物を処理（＝「廃油による燃料油の代替　等の廃棄物による原燃料の代替」や「含塩素廃棄物を塩化揮発の塩素源として活用　等の補助材料化」により、廃棄物を有効活用しつつ処理）を実施し、「要埋め立て残渣を生じないゼロエミッション」の廃棄物処理を実現。		
事業所写真			
問合せ先窓口	部署名	総務部	
	担当者名	戸塚　司	
	連絡先	電話番号	093-872-2100
		FAX	093-884-0666
		E メールアドレス	totsuka@kowa-seiko.co.hjp

22.17.2　技術情報(3)

<table>
<tr><td>キーワード</td><td colspan="5">廃棄物，焼却，再資源化，ゼロエミッション</td></tr>
<tr><td>技術名称</td><td colspan="5">産業廃棄物の処理</td></tr>
<tr><td>技術の分類</td><td colspan="5">有害廃棄物処理</td></tr>
<tr><td>目的・用途</td><td colspan="5">各種の産業廃棄物の処理</td></tr>
<tr><td>特長</td><td colspan="5">ゼロエミッション（＝要埋立て残渣無し），
高塩素含有物等の難処理物の処理にも対応</td></tr>
<tr><td>設備等の写真</td><td colspan="5">
産廃炉</td></tr>
<tr><td>処理フロー図</td><td colspan="5">産廃炉を中核に、処理を実施。
項目名に青枠かけしているのが廃棄物で、その性格に応じた工程にて処理を実施する。
  </td></tr>
<tr><td rowspan="3">廃棄物の種類</td><td>一廃・産廃</td><td>汚泥，ASR，燃え殻，飛灰</td><td>受入条件、形状</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>産廃</td><td>廃油，廃アルカリ，廃酸</td><td>受入条件、形状</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>産廃</td><td>その他の各種廃棄物</td><td>受入条件、形状</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">供給資源・製品</td><td colspan="2">水酸化亜鉛</td><td>形状</td><td colspan="2">粉状</td></tr>
<tr><td colspan="2">銅滓</td><td>形状</td><td colspan="2">粉状</td></tr>
<tr><td colspan="2">石膏</td><td>形状</td><td colspan="2">粉状</td></tr>
<tr><td>アピールポイント</td><td>廃棄物等排出者側のメリット</td><td>例)処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等</td><td colspan="3">塩化揮発を中核とした処理工程で処理するため、難処理物（～高ハロゲン物を含めた多様な難処理物）に対応でき，且つ，ゼロエミッションでその処理が出来る。</td></tr>
</table>

22.17.3　実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥	32,246	27,620	Ton
	廃油	39,452	30,467	Ton
	廃酸	40,206	35,227	Ton
	廃アルカリ	60,262	54,978	Ton
	その他の各種廃棄物	28,050	20,737	Ton
販売実績量の推移	製鉄ペレット	116,827	116,975	Ton（Dry）
	セメント焼鉱	33,167	12,051	Ton（Dry）
	水酸化亜鉛	3,852	3,376	Ton（Dry）
	銅滓・金銀滓	975	591	Ton（Dry）
	その他（石膏　等）			Ton（Dry）
主な調達先	主要な原燃料の調達先は新日鐵住金㈱八幡製鐵所〔製鉄ダスト，LDG〕。副資材（排水処理の石灰・炭酸カルシウム　など）については、省略。			
主な供給先	当社の業である製鉄ダストのリサイクル，及び，廃棄物（産廃，一廃）の処理を通じて生産・回収した製鉄ペレット，蒸気，セメント焼鉱，水酸化亜鉛，銅滓，石膏　等については、製鉄業，非鉄製錬業，セメントへ向けて出荷・販売しています。			
技術開発の実績（過去 5 年間）	製鉄ダストの処理について長年の研究実績があります。			
設備投資の実績（過去 5 年間）	年間約 10 億円程度の設備投資を行っています。			
海外展開の実績（過去 5 年間）	当社事業としての海外展開は実施していません。			
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	グリーンニューディール事業の補助金を受けております。			

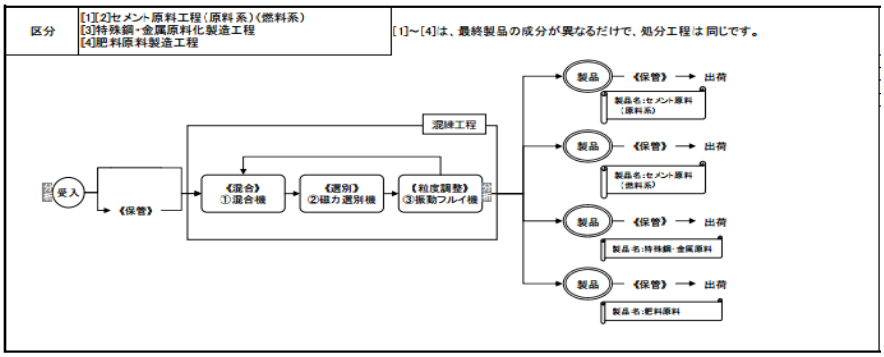
22.20　アミタ株式会社

22.20.1　事業者情報

名　　称	アミタ株式会社		
本社住所	〒102-0073	東京都千代田区九段北三丁目 2 番 4 号 メヂカルフレンドビル 2 階	
資本金、出資金	473,239 千円		
従業員数	158 名（アミタグループ連結）（2014 年 1 月 1 日現在）		
設立年月日	1977 年 4 月 1 日		
URL	http://www.amita-net.co.jp/		
事業概要	総合環境ソリューションの提供 ・廃棄物再資源化サービス ・環境管理業務支援サービス ・環境・CSR マーケティング支援サービス　等		
事業所写真	http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/kitakyushu.html 		
問合せ先窓口	部署名	コミュニケーション戦略グループ　共感資本チーム	
	担当者名	広報担当（蝦名　裕一郎）	
	連絡先	電話番号	075-277-0795
		FAX	075-255-4527
		E メールアドレス	press@amita-net.co.jp

22.20.2　技術情報

<table>
<tr><td>キーワード</td><td colspan="4">持続可能社会の実現、100%再資源化、廃棄物処理</td></tr>
<tr><td>技術名称</td><td colspan="4">産業廃棄物を原料とした循環資源の製造</td></tr>
<tr><td>技術の分類</td><td colspan="4">その他（調合）</td></tr>
<tr><td>目的・用途</td><td colspan="4">独自の技術で混錬、調合（調整・混合）を行い、セメント原料化や金属原料化</td></tr>
<tr><td>特長</td><td colspan="4">単体では再資源化困難な発生品(廃棄物)を調合し、再資源化可能な循環資源としてユーザーに提供しております。 http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/</td></tr>
<tr><td>設備、製品等の写真、イメージ</td><td colspan="4">セメント原料系：http://www.amita-net.co.jp/images/prod2.jpg
セメント燃料系：http://www.amita-net.co.jp/images/prod3.jpg
特殊鋼原料（Ni、Cr）：http://www.amita-net.co.jp/images/prod4.jpg
金属原料（Cu）：http://www.amita-net.co.jp/images/prod5.jpg

説明ページ：http://www.amita-net.co.jp/recycle/factory/products-listing.html</td></tr>
<tr><td>処理フロー図</td><td colspan="4"> 
</td></tr>
<tr><td rowspan="5">廃棄物の種類</td><td>産廃</td><td>燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず、鉱さい、ダスト類、全 11 種類</td><td>受入条件、形状</td><td rowspan="5">成分、性状により判定。</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>受入条件、形状</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>受入条件、形状</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>受入条件、形状</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>受入条件、形状</td></tr>
<tr><td rowspan="4">供給資源・製品</td><td colspan="2">セメント原料　燃料系</td><td>形状</td><td>泥状</td></tr>
<tr><td colspan="2">セメント原料　原料系</td><td>形状</td><td>泥状</td></tr>
<tr><td colspan="2">金属原料　Ni-Cr 系</td><td>形状</td><td>泥状</td></tr>
<tr><td colspan="2">金属原料　Cu 系</td><td>形状</td><td>泥状</td></tr>
</table>

アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例）処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	・100%再資源化、副次的に発生する廃棄物が存在しない。 ・単体では再資源化が難しい廃棄物も調合によって再資源化できる可能性が高い ・100%再資源化のため将来的な廃棄物の残存リスクがない。 埋め立てリスク: http://www.amita-oshiete.jp/qa/entry/001818.php ・100%再資源化のため、再資源化率の計算がしやすい ・港湾を使った海運中心のため、輸送コストと重量ベースで輸送時二酸化炭素が陸送と比べて低い ・アミタ株式会社はジャスダック上場企業であるアミタホールディングス株式会社の 100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。 http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html ・環境・安全・地域貢献: http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf ※～全国 5 つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001 認証取得を実現 ・姫路、京丹後、茨城の製造所は優良認定許可取得済みです。(川崎、北九州は 5 年経過後申請予定) ・企業環境担当者様向けの無料・有料のソフトサービスも充実しています。http://www.amita-net.co.jp/management/ ・自社で受入不可能な廃棄物も再資源化ネットワークを駆使して受け入れ先を見つけます。 http://www.amita-net.co.jp/recycle/network.html
	製品購入者側のメリット	例）環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	・一定品質、物量の安定した副原料の活用。 ・化石燃料の使用量削減 ・コスト削減、収益の改善 ・アミタ株式会社はジャスダック上場企業であるアミタホールディングス株式会社の 100%子会社なので、上場企業として反社会的勢力への対応や内部監査体制が整っている。 http://www.amita-hd.co.jp/ir/corporategovernance.html ・環境・安全・地域貢献: http://www.amita-net.co.jp/pdf/safety.pdf ※～全国 5 つの製造所を中心とする生産部門全体でのISO14001 認証取得を実現
	その他	例）受賞歴、施設見学受入者数、等	見学実績:2013 年:91 団体 152 名 マレーシア環境局等海外の受入実績多数 http://www.amita-hd.co.jp/news/post_1061.html

22.20.3　実績情報

	品目名	平成 20 年度	平成 24 年度	単位
処理実績量の推移	汚泥	未稼働	非公開	t
	燃え殻	未稼働	非公開	t
	廃油	未稼働	非公開	t
	廃プラスチック類	未稼働	非公開	t
	ばいじん	未稼働	非公開	t
	木くず	未稼働	非公開	t
	動植物性残さ	未稼働	非公開	t
	ガラスくず	未稼働	非公開	t
	鉱さい	未稼働	非公開	t
受入可能量	400 ㎥/日		③産業廃棄物/特別管理産業廃棄物の種類、 ④処理能力 燃え殻　79.8t/1 日(8 時間) 汚泥　312m3/日(8 時間) 廃油　70m3/日(8 時間) 廃プラスチック類　77t/日(8 時間) 紙くず　5.4t/日(8 時間) 木くず　9.9t/日(8 時間) 動植物性残渣　18t/日(8 時間) 金属くず　79.1t/日(8 時間) ガラスくず　70t/日(8 時間) 鉱さい　135t/日(8 時間) ダスト類　88.2t/日(8 時間) ■開示情報 http://www2.sanpainet.or.jp/zyohou/index_u5.php?Param1=8&Param2=60035&Param0=&menu=2	
出荷実績量の推移	セメント原料系	未稼働	283	t
	セメント燃料系	未稼働	15,351	t
	特殊鋼原料	未稼働	220	t
	http://www.amita-net.co.jp/pdf/performance.pdf	未稼働		

主な調達先	化学、電気、鉄鋼、製紙、精密機器等、各業種
主な供給先	セメント・非鉄・鉄鋼メーカー
技術開発の実績 （過去 5 年間）	非公開
設備投資の実績 （過去 5 年間）	非公開
海外展開の実績 （過去 5 年間）	海外からの研修、見学を積極的に受入。事業展開も検討中。 1980 年代から海外事業を展開しており、産物（有価物）、廃棄物を原料として捉えた輸出入の取り引きのほか、一部の国ではセメント代替燃料に関する特許をライセンスしました。 ▼取引実績国 台湾／韓国／中国／ロシア／フィリピン／シンガポール／インドネシア／マレーシア／タイ／アメリカ等 ▼海外オフィスと現地法人 韓国には 1991 年にオフィスを開設し、2011 年には台湾に現地法人を設立しました。台湾では、太陽電池の製造工程で排出される廃棄物の再資源化施設を、台南市にて計画しています。 http://www.amita-net.co.jp/recycle/global.html 2014 年は台湾における再資源化プラントの設置・稼働準備およびマレーシアでの再資源化事業検討など、急成長する海外市場の開拓を推進します。 http://www.amita-hd.co.jp/news/2014_1.html
補助金等支援策の活用実績(過去 5 年間)	非公開
その他実績	■受賞歴 第 9 回エコプロダクツ大賞優秀賞（2012 年） グッドデザイン賞（2001 年） 資源循環技術・システム表彰 CJC 会長賞（1996 年）他。 http://www.amita-hd.co.jp/company/award.html ■再資源化実績・取扱品目： http://www.amita-net.co.jp/recycle/performance.html